

## 最近の韓国・中国・台湾経済情勢について

### 【今週のチェック・ワード】

#### 【日本の労働力と韓国について】

日本では、人口減少に伴い、外国人労働者を海外から入れようとの動きがあります。

人口減少ですから、海外から労働力を受け入れることは、ある程度は仕方ありません。

一方、私は「地球規模」で見た場合には、「人口減少はむしろ自然に合わせた動き」であり、敢えて、人口を日本が増やそうとせず、自然減少していくことを受け入れても良いのではないかと考えています。

もちろん、その前提として、

「一人の人が量ではなく、質でよりたくさん働き、よりたくさん収入を得て、よりたくさん消費することが必要であり、そうした意味で質の高い働きが出来る人材の育成に日本はより注力すべきかと考えています。

そこで、もう一度、外国人労働者の日本受け入れについて考えて見ますと、私は、

「日本人に必要な雇用を提供出来ている上で不足している状況」

であれば、これに反対をしません。今や、日本人自身も就職が出来ず困っているのに外国人労働者に職場機会を提供することは本末転倒かと考えます。

しかし、日本人で就職出来ない人たちに、所謂、3Kのような仕事もさせられませんから、上述したように、「就業支援も含めた教育の充実」を図ると同時に、3Kなどの分野の仕事の多くは、日本の技術を駆使して、「無人ロボットによる代替化」を至急推進すべきであり、ここに、成長戦略の予算の一部もつぎ込み、景気回復をも図って行くべきであると確信しています。

私が、こうした考え方を前提としているということをお含み戴いた上で以下をご覧ください。

政府レベルではあれほど日本を嫌う韓国が日本で韓国人を就職させようとし、また、それを、日本のリクルート関連企業もサポートしているようです。

#### 引用始め

「就職難にあえぐ韓国の若者の日本への就職を支援しようー。

韓国貿易協会は、深刻化する若者の就職難を受け、こんな方針を打ち出したと韓国・聯合ニュースが伝えている。

同協会は、すでに日本の就職情報会社マイナビ、韓国の求人情報サイトのジョブコリアと業務協約を結び、ソウルで「日本就業成功戦略説明会」を開催。

今後は日本での就職を希望する求職者に役立つ教育を行うほか、7月には日本企業を招き、採用博覧会を開催する予定という。

韓国統計庁によると、韓国の昨年の失業率は3.6%で、最近では2010年(3.7%)に次ぐ悪さだった。

特に若年層(15~29歳)の失業率は9.2%と、前年から0.2ポイント悪化し、1999年に統計の基準が変更されて以来の高さとなった。」

これによると、韓国の若者の失業対策に日本が利用されるということになります。

上述したように、日本の若者の雇用が満ち足りていてこうしたことをするのは私は反対しません。

しかし、今はそうではなく、このような動きは未来に禍根を残す、例えば、ドイツがかつてトルコ人を主として3K労働者不足に対応するように受け入れたことから、今、社会問題が発生しているような禍根を生む危険性が高いと思います。

私はそうした意味で、こうした、安易で拙速とも言える対応を受け入れることには疑問を感じます。

いずれにしても世の中は労働環境も踏めて混沌が深まりそうで心配です。

## **【台湾・中国・その他】**

—今週の台湾・中国—

[台湾]

本年の1月の民進党の総統、立法院選挙勝利を背景に、台湾の、「米国寄り化」が進む可能性もある。

しかし、それは中国本土にとっては好ましくない。

こうした中、今般開催されている中国本土の全国人民代表大会（全人代）で発表された第13次5カ年計画案の中に、福建省福州と台湾を結ぶ高速鉄道の建設計画が盛り込まれた。

これは同計画案の中に突然に織り込まれたものと見られており、極めて、「政治的な匂い」を感じるものである。

今後の中台、そして周辺諸国や米国の動き、反応をフォローしたい。

[中国]

インドを訪問した米国のハリス太平洋軍司令官は、今年の米印海上共同訓練「マラバール」について、昨今の国際状況を反映して、恒常的参加が決まっている日本を招き、南シナ海に近い「フィリピン海」北部で行うと明らかにした。

インド洋ではなくフィリピン海での演習を示唆しており、これは明らかに南シナ海の軍事拠点化を進める中国本土を牽制する狙いがあると見ても良いであろう。

今後の動向をフォローしたい。

—今週のニュース項目（見出し）—

1. 中国本土、国防予算について
2. 韓国ミサイル防衛システムに関する中国本土の反応について
3. 中国本土経済について
4. 中国本土、格差是正策について
5. 中国本土、海洋進出について
6. アフガニスタン情勢について
7. 南シナ海問題について
8. 中台関係について
9. パキスタン情勢について

10. 中国本土、不良債権問題について
11. チベット・台湾・香港問題について
12. 米豪関係と中国本土について
13. フィリピン情勢について
14. 中越関係について
15. 中国本土の北東アジア政策姿勢について
16. 中国本土、軍事予算について
17. ミャンマー情勢について

—今週のニュース—

### 1. 中国本土、国防予算について

中国本土の全国人民代表大会（全人代）は、中国本土の2016年の国防予算案について、「増加幅は前年対比7～8%の間となる。」

との見通しを示唆している。

中国本土の国防予算は、最近は一桁台の増加を記録、特に中国本土政府は、海空軍力の強化を進めていると見られているが、一方で、6年ぶりの一桁台の伸び率となるとの見通しである。

尚、昨年の国防予算を基準とすると、約9,500億人民元となる見通しであり、これに基づけば、日本の国防予算金額の三倍を超えるものと見られている。

動向をフォローしたい。

### 2. 韓国ミサイル防衛システムに関する中国本土の反応について

中国本土政府・外交部は、米韓両国が、米最新鋭ミサイル防衛システム「最終段階高高度地域防衛（THAAD）」配備に関する公式協議を開始したことについて、

「断固反対する。関係国は慎重に行動し、中国の安全上の利益を害するべきでない。」

とコメントを発表している。

韓国・朴政権もこれまで、米国の再三にわたる「米国ミサイル防衛システム導入」要請されてきていたが、経済関係も深まる中国本土との関係に対する配慮などもあり、米国との間でのTHAAD導入協議は実施してこなかった経緯がある。

そうした中での米韓公式協議の開始であり、その米韓公式協議に対する中国本土の不満と懸念表明であることから、韓国の反応などを注視したい。

### 3. 中国本土経済について

中国本土では、全国人民代表大会（全人代）が開催され、李克強首相は冒頭の政府活動報告で経済の中期目標である「第13次5カ年計画案」を説明した。

これによると、前回計画で7%としていた今後5年の国内総生産（GDP）の成長目標は、「年平均で6.5%以上を保つようにする。」

と発表し、引き下げている。

今回の5カ年計画は習近平体制として初めて纏めたものであり、成長目標は引き下げたとはいえ、依然として高い水準を目標としており、李首相は、

「我々は必勝の自信に満ちている。人々の生活はよりよくなる。」

とコメントしている点、付記しておきたい。

#### 4. 中国本土、格差是正策について

中国本土政府は社会の一層の安定と発展を目標に、格差是正とゆとり社会の実現を目指し始めている。

こうした中、2015年時点で年収2,300人民元以下の超貧困層が中国本土には、依然として約5,500万人存在すると見られており、格差の存在が認識されており、また「ゆとりのない人民」が存在している。

これに対して、経済減速が格差を固定化し、社会の不安定化に繋がることを習近平政権は強く警戒している。

そこで李克強首相は、今般発表した報告書の中で、農村の貧困対策に充てる資金について前年対比43.4%の大幅増となる約460億人民元を計上すると発表した。

更に貧困解消への具体的な方策として、農村地区から都市部への移住促進や、貧困地域が多い内陸部で中小都市を発展させる方針などをとにかく様々に列挙し、また最低生活保障や年金の支給基準を緩和するなど、これまでは、モラルハザードが起ころ、働かない人がかえって増えてしまうのではないかとして、政策導入には慎重であった「社会の底辺を守るセーフティーネット策」の拡充もここで強調している。

その効果と中国本土国内の評価を注視したい。

#### 5. 中国本土、海洋進出について

中国本土政府が、今般、全国人民代表大会（全人代）へ提出した「第13次5か年計画」の草案の中には、海洋政策全般を包括する「海洋基本法」を制定するとの内容が明記されている。

フランスの「海洋権益に関する法律であるドムトム」などを一つの見本としながら、「海洋強国」建設を国家戦略に掲げる中国本土政府は、同法を根拠に東シナ海や南シナ海での主権主張や海洋権益保護の動きを一層強めるものと見られる。

今後の動向をフォローしたい。

#### 6. アフガニスタン情勢について

アフガニスタンでのテロ事件はなかなか収まらない。

そして、アフガニスタンのイスラム原理主義勢力タリバンは、アフガン、パキスタン、米国、中国本土の4カ国が行いたいとしていたアフガニスタン政府とタリバンの直接和平協議を拒否するとの声明を発表した。

そして、タリバンは、

「駐留外国軍の侵略が続く限り、和平協議には参加しない。」

などと拒否の理由を説明している。

引き続き動向をフォローしたい。

#### 7. 南シナ海問題について

「嘘も百回言うと本当になるということを実践するのが得意な国と国民がいる。」

とまで揶揄される中国本土は、正に、「既成事実化」をすることの上手な国である。

こうした中、国際社会から、「軍事利用化」を非難されている南沙諸島開発について、その軍事利用化をごまかすために民間使用の実績を作り既成事実化、こうした非難をかわす動きが出ている。

即ち、中国中央テレビなどの現地報道によると、中国で南シナ海の島嶼を管轄する海南省三沙市の肖傑市長は、本年6月までに、西沙諸島の拠点・永興島の空港に民間の航空路線が就航するとの見通しを示しているのである。

今後の動向をフォローしたい。

## 8. 中台関係について

中国本土の国営・新華社通信は、習近平国家主席は、北京で開かれた全国人民代表大会（全人代＝国会）の上海代表团分科会で、

「台湾政策は明確で一貫しており、台湾政局が変化しても変わるものではない。」

とのコメントを示した。

米国との連携を深める可能性のある台湾を中国本土が強く牽制したものと見ておきたい。

## 9. パキスタン情勢について

パキスタン北西部シャブカダルの裁判所では、制止を振り切って構内に乱入した男に警察官が発砲したところ、その男が自爆するという事件が発生した。

そして、地元テレビによると、裁判所に来ていた民間人を含む多数の死傷者が出る事態となっている。

反政府勢力パキスタン・タリバーン運動（TTP）の一派が犯行声明を出している。

パキスタンに安全な社会が訪れる日は遠そうである。

## 10. 中国本土、不良債権問題について

中国本土では、景気悪化と雇用を守るために企業に操業維持を促し、その結果として経営悪化をしている企業が増えつつあり、更にそうした企業を金融機関が守っていることなどから、不良債権が増加していると見られつつある。

こうした中、中国本土では金融機関を保護する動きが出てきている。

即ち、中国本土の楼継偉財政相は、開会中の全国人民代表大会（全人代）に合わせて記者会見し、上述したような背景に加えて、

「中国本土の銀行が構造改革を進める状況では不良債権比率が更に上昇する可能性がある。」

と説明した上で、

「国有大手銀行の経営が悪化した場合は、必要に応じて適当な支援をする。」

とコメントしている。

今後の動向をフォローしたい。

## 11. チベット・台湾・香港問題について

中国本土にとって、政治的・社会問題としては、チベット・台湾・香港問題は大きな問題である。

こうした中、中国本土・チベット自治区のバマチリン自治区共産党委員会副書記は、台湾の次期政権が、インドに亡命しているチベット仏教の最高指導者ダライ・ラマ14世を招待した場合、

「中国本土政府はダライ・ラマ14世の台湾訪問に断固反対する。」

とコメントしている。

また、北京で開会中の全国人民代表大会（全人代＝国会）では、香港代表団の会議が開かれ、香港で頻発する中央政府への抗議デモを批判した。

香港では中央政府の強硬姿勢を受け、香港警察が民主化デモなどの取り締まりを強化するのではないかと懸念する声が上がっており、今回の動きは更にこうした香港市民の不安を増幅させるものとなっている。

今後の動向を注視したい。

## 1 2. 米豪関係と中国本土について

筆者は、中国本土とオーストラリアの関係は、その経済関係の緊密さなどもあり、関係が悪いと言う状況にはないと認識している。

しかし、昨今の南沙諸島問題などを背景に米国がオーストラリアにアプローチしており、具体的には、米国がB 1などの戦略爆撃機をオーストラリア北部ダーウィンの空軍基地に巡回駐留させることをオーストラリア政府と協議していることが最近伝えられている。

オーストラリアが如何に反応し、また、米豪の連携がある程度確認された場合には中国本土が如何なる対応を示すのか注視したい。

## 1 3. フィリピン情勢について

フィリピンでは5月9日に大統領選が実施される予定となっている。

そして、その有力候補であったグレース・ポー上院議員は、国内居住期間などの要件を満たしていないとし、立候補の資格がないとされていた問題で、フィリピンの最高裁は、ポー氏に候補者資格があるとの判断を示した。

これにより、大統領選は4候補を軸とする選挙戦となることがほぼ決まった。

選挙は一層混戦が予想される。

## 1 4. 中越関係について

ベトナム国営紙であるトイチェは、南シナ海・西沙諸島付近で、中国本土の海上警備当局の船がベトナム漁船を襲撃し、食料などを略奪したと報じている。

この報道内容が本当であるとすれば、検査ではなく略奪行為であり、事実関係を追求すべきであろう。

## 1 5. 中国本土の北東アジア政策姿勢について

中国本土政府・外交部は、米韓による合同軍事演習が始まり、北朝鮮が「総攻勢」を表明したことについて、

「中国本土は朝鮮半島で厄介ごとを引き起こすような行動に断固として反対する。

門の前で戦いや混乱が深まることは絶対に受け入れられない。」

とのコメントを示している。

そして、

「今回の軍事演習は空前の規模で、4月末まで続くということで、北朝鮮はすでに強烈な反応を示している。

関係方面は自制を保ち、互いに刺激したり、緊張を激化させたりしないよう強く望む。」と米韓を牽制している。

その上で、さらにまた、

「中露外交当局は、朝鮮半島情勢を含む北東アジアの安全に関する次官補級協議で、在韓米軍への

高高度防衛ミサイル（THAAD）配備への反対を確認した。」  
として、中露が連携して米国を牽制していることを内外に示した。  
今後の動向をフォローしたい。

## 16. 中国本土、軍事予算について

中国本土南部の軍事拠点として発展している、南シナ海を管轄する海南省の2016年国防予算案が、中国本土当局から発表された。

これによると、前年の予算案と比べてほぼ倍増している。

中国本土経済が減速する中でも、同省の国防に手厚く配分したということは、やはり、南シナ海の実効支配に向けた動きと見られても仕方ない。

こうしたことを実際に行っている中国本土が、日本や周辺諸国に対して、「中国本土を友人と思うか、ライバルと思うか？その中国本土との付き合い方を決めるのは他国にある。」

とし、関係改善を高圧的にせまる中国本土外相の詭弁を決して許してはならない。

但し、平和的解決に向けた努力を最後まで続けることを前提とする。

## 17. ミャンマー情勢について

ミャンマーでは、現行制度上、大統領となれないアウンサンスーチー氏が率いる「国民民主連盟（NLD）」が、新大統領の候補として、アウンサンスーチー党首の側近で財団幹部のティンチョー氏を指名している。

そして、国会での全議員による投票で、近々大統領に選ばれる見通しである。

しかし、大統領以上の存在となると言ってはばからないアウンサンスーチー氏の政策遂行手腕は今後も問われ、それが万一、うまくいかないと、国民の批判や不満は一気にアウンサンスーチー氏や与党に向かう可能性もある。

動向を注視したい。

## 【韓国】

—今週の韓国—

中央銀行である韓国銀行が発表した本年2月末の外貨準備高は3,657億6,000万米ドルとなっており、前月対比15億4,000万米ドル減少している。

これにより、減少は4カ月連続となっており、英国ポンド安やユーロ安により、米ドル以外の資産の米ドル換算額が目減りしたことが、減少の背景とされている。

尚、韓国の外貨準備高は本年1月末時点で世界7番目であり、1位は中国本土の3兆2,309億米ドル、続いて日本（1兆2,481億米ドル）、スイス（6,049億米ドル）、サウジアラビア（6,020億米ドル）、台湾（4,260億米ドル）、ロシア（3,716億米強ドル）となっている。

今後の動向をフォローしたい。

—今週のニュース項目（見出し）—

1. 北朝鮮情勢について
2. 造船業界について

3. 米韓合同軍事演習について
4. 経済成長力について
5. 大型乗用車販売について
6. 北朝鮮の核開発について

—今週のニュース—

### 1. 北朝鮮情勢について

北朝鮮は、国連安全保障理事会の制裁決議に対し、「断固たる対応措置を取る。」  
としている。

北朝鮮国営の朝鮮中央通信も、「敵に対する軍事対応を全て先制攻撃方式に切り替えると金正恩第1書記が発言した。」  
と報道している。

尚、北朝鮮は更に強硬な姿勢を取る考えを示唆しているが、国際金融筋では、当面は北朝鮮が具体的行動に直ぐに出るとは見られていない。

一方、朝鮮中央通信はまた、「北朝鮮の対韓国窓口機関である祖国平和統一委員会は、南朝鮮（韓国）はもちろん、日本と太平洋地域、米国本土にある侵略の全ての本拠地が、さまざまな攻撃手段の射程圏内に入っていることを一瞬も忘れてはならないと発表した。」  
と報道している。

北朝鮮の動きは、基本的には予断を許されず、状況を慎重にフォローしたい。

### 2. 造船業界について

韓国にとって造船業界は、重要な外貨獲得産業の一つである。

その韓国造船業界の船舶建造残量は、本年2月に世界第二位となったものの、世界的な発注減少の影響で11年ぶりの低水準になっている。

これは、英国の造船・海運市況分析会社クラークソンが示したデータによるものであり、「世界の造船業界における本年2月現在の受注残量は前月に比べて203万CGT（標準貨物換算トン数）減の1億383万CGTとなった。」

と発表した上で、国別受注残量では中国本土（3,780万CGT）が最も多く、以下、韓国（2,844万CGT）、日本（2,182万CGT）の順となったことから明らかになったものである。

引き続き動向をフォローしたい。

### 3. 米韓合同軍事演習について

定例の米韓合同軍事演習が始まった。

今年は最近の北朝鮮の動きを受けてより実践的な演習となっている。

こうした中、北朝鮮政府は、この米韓両軍の合同軍事演習を非難し、「敵に対する軍事対応を先制攻撃方式に全て転換する。」  
との談話を発表した。

米韓演習を前に朝鮮半島の緊張が一段と高まっていると見ておきたい。



#### 4. 経済成長力について

韓国政府系 Think-Tank である韓国開発研究院（K D I）は発表した「経済動向3月号」では、韓国経済の成長鈍化を指摘している。

即ち、K D I は、

「最近の主要指標の不振が続き韓国経済の成長の勢いが鈍化していると判断される。」とのコメントを示した。

また、K D I が先月発表した経済動向でも、

「一部指標の不振が続き、韓国経済の成長が次第に鈍化する可能性を示唆している。」との判断を示しており、韓国経済の深刻さを指摘している。

韓国政府の対応策をフォローしたい。

#### 5. 大型乗用車販売について

韓国の主要紙である朝鮮日報は、

「原油安と新車発売の効果が重なり、韓国自動車市場で大型乗用車が全盛時代を迎えている。」との主旨の報道をしている。

即ち、朝鮮日報は、韓国の自動車メーカー5社の本年1～2月の販売実績を分析した結果、準大型以上の大型乗用車（排気量2000CC以上）の販売台数が3万865台となり、全体の17万8,925台の17.3%を占め、過去最高だった2011年の17.2%を5年ぶりに更新したと発表している。

今後の動向をフォローしたい。

#### 6. 北朝鮮の核開発について

北朝鮮の朝鮮中央通信は、

「金正恩第1書記が核兵器の小型化に成功したと述べた。」と報じている。

こうした発言は、国際社会に対する単なる牽制との見方が強いが、万一、これに成功していると北朝鮮の核ミサイル能力は相当高まることになる。

念の為、注視したい。

### 【トピックス】

私がお縁を戴いている企業では、次のような言葉を大切にされているようで、それをノベルティの扇子にもさりげなく印刷してお客様にも配っているそうです。

意味の深い言葉です。

禅語でもあるこの言葉は素晴らしい言葉であり、今日は、この言葉を皆様方にもご紹介させていただきます。

#### 八風吹不動

「八風吹けども動ぜず」

寒山詩にある句であります。

その意味は、

「自分を惑わすような出来事には動じず、強い心を持って頑張ろう。」

ということでもあります。

すると、この「八風」とは何かが気になるところでありますが、これは、

1. 四順（人が求める四つの事）
2. 四違（人が避ける四つの事）

からなる、人の心を惑わし、煽り立てる八つの風＝要素とされています。

もう少し詳しく眺めましょう。

1. 四順
  - (1) 利 意にかなう利益のこと
  - (2) 誉 陰で名誉を受けること
  - (3) 称 目の前で称賛されること
  - (4) 楽 様々な心身を喜ばすこと

2. 四違
  - (1) 衰 意に反する損失のこと
  - (2) 毀 陰で不名誉を受けること
  - (3) 譏 目の前で中傷されること
  - (4) 苦 様々な心身を悩ますこと

と四つの対になった意味となっています。

如何ですか？

最近、私は感じますが、この世の中では、世界中が、

「その力を背景とした欲深の人たちが勝手なことをして、理不尽な事を続けている。」  
と思います。

そして、これに対していらいらしたり、これに反発することもあります。しかしまた、もしも欲深の人に甘い言葉をかけられて私が良い思いをすれば、多分私も嬉しいと思います。

また、誰でも誉められれば嬉しいし、虐められれば傷つきます。

悪い事だけではなく、良い事も人に慢心を生み出し、その結果として私達の心は良いことによっても悪いことによっても揺り動かされます。

このような八つの風に晒され続けて私たちは生きていかななくてはならないのです。

だからこそ、私たちはしっかり心の根を張り、凜として生きるべきであり、八風に吹かれても、心に動揺が生じず、抑制して、粛々と生きていかななくてはならないのであります。

「言うは易し」

ではありますが、私もこうした考え方を基にして、一喜一憂せず、粛々と生きていきたいと思いません。

### [今週の“街角のお話”シリーズ]

ご縁があり、東京の稲城で講演会をさせて戴きました。

じっくり2時間、地元産業界の経営者の皆様方と議論をさせて戴きました後、地元有数のお寿司屋さんに連れて行って戴きました。

お店は地元幹線道路である川崎街道に面していますが、

「のれん」

が終わられています。

もう閉店かと思いきや、いつものれんをしまっているそうです。

店主の方に伺うと、とても気さくな優しい心遣いのある人で、決して、「傲慢」

でのれんを出していないのではなく、

「私は出来る限り、良い寿司を、お寿司好きの人々が手を出せる価格帯で、より多くの人に提供したいと考えており、先ずは喜んで来てくださる方、ここをよく知っているお客様にお寿司をお出ししたいので、敢えてのれんは出していない。」

と仰います。

そして、少しでも安い価格で良いものを提供しようとする、

「人件費を中心とするコストを抑えざるを得ず、よって地価の高い大都会ではお店は出しにくい。家族を従業員とし、その数で対応できるだけのお客様数だけをお相手したい。

それがあって、自らの腕によって、出来る限り最高のものを市場から手に入れ、お寿司として仕込みをし、それをさっと握って喜んでもらいたい。」

とも仰います。

また、決して、

「一見さんお断り」

ではなく、初めてののお客様も対応するが、その場合は会話の中でそのお客様の好みを聞き出し、その好みにあったものを、解説を加えながら提供していくようにしているとも仰います。

そしてもし、初めてのお客様が、

「お任せで」

と言われた時には特に、その解説を丁寧にしつつ、お客様のお好みに本当にあっているのかを確認しながら、オーダーメイドでお寿司を出して行く、こうして、丁寧に仕事をする心を心がけているそうです。

彼は、長いこと、名門で修行した後、独立された方で今や寿司職人の教科書にも出るような方ですが、本当に気さくな良い方でした。

そして、最後に、

彼はもうひとつ面白いことを言っていました。

「寿司をビジネスとして捉え、大きく儲けようとすれば、魚屋をベースとした大型回転寿司チェーンを出店地を間違えずに出していけば、かなりの確率で成功に導ける、しかし、そうした仕事を私は選びたくない。」

質よりも量を重要視、規模の経済性を追求するビジネスよりも質を重要視したいとのことであります。

そうした点からして、私も最後に一言、

「大量、多品種、高品質、高利潤が得られれば、それに越したことはないが、それが難しいとなれば、量より質を重要視することを良しとしたい。

しかし、それでも質を追求するあまり、伝統工芸家的、或いは、芸術家的仕事になり過ぎると、今度は、ビジネスの範疇から外れてしまう。

即ち、ある程度の現実との折り合い付けも必要になる。」

と考えられると。

質を追求するビジネスの形を追求すること、言うは易く行うは難しいものであります。

良い勉強になりました。

## [英語で一言]

ここでは、英語を母国語としない私が英語を母国語としない多くの人々にも伝わるように、短文、平易な英単語を使って、気になる言葉、出来事を、短歌のように数行で示していくことを毎週トライするものであります。

またまた拙いコーナーの開始ですが、お付き合いください。

## **Bangkok=タイの首都・バンコク**

タイの首都・バンコクはたくさんの精米所、製材所、チーク材生産工場、そして半導体や自動車部品を含むたくさんの輸出品を作る工場が存在していると言うことを誇る町です。

バンコクはメナム地域のチャオプラヤ川が流れ、シヤム湾の上流に位置しています。

また、運河によって整備された交通網が今も使われている町でもあります。

バンコクの歴史は1800年頃から本格的に始まりますが、1785年にラマー一世が作った王宮あり、ワット・アルンラーチャワラーラムという絵に描いたような美しい寺院、そしてエメラルドのお仏様像の聖堂のある町です。

タイ第一の都市であり、また港町でもあります。

バンコクは、もともとは小さな砦がある農村でありましたが、タークシン王が1769年にビルマとの闘いでの拠点として使い始めたことから発展した町であることも忘れてはなりません。

## **Bangkok=Capital City of Thailand**

**Bangkok boasts numerous rice mills, sawmills and factories for processing teak, and export commodities including semiconductors and auto-parts.**

**Bangkok is located on the Menam Chao Phya river, upstream from Gulf of Siam.**

**A network of Canal are still used for water-borne traffic.**

**Most of Bangkok dates from 1880 but includes the Royal Palace, the picturesque temple of Wat Arun and the Chapel of the Emerald Buddha, erected in 1785 by Rama1.**

**Bangkok is the chief city and port of Thailand.**

**Bangkok was a small fort and farming village before King Taksin(1767~1782) used it as his base against Burma in 1769.**

## [主要経済指標]

1. 対米ドル為替相場

韓国：1米ドル／1, 188.09 (前週対比+18.32)

台湾：1米ドル／32.70ニュー台湾ドル (前週対比+0.11)

日本：1米ドル／113.56 (前週対比+0.31)

中国本土：1米ドル／6.4983人民元（前週対比＋0.0229）

## 2. 株式動向

韓国（ソウル総合指数）：1,971.41（前週対比＋15.78）

台湾（台北加権指数）：8,706.14（前週対比＋62.59）

日本（日経平均指数）：16,938.87（前週対比－75.91）

中国本土（上海B）：2,810.307（前週対比－63.840）

以上  
草の根の辻説法師を目指す

真田幸光